

## 「防災体験学習を通して」

1年7組 鶴巻 璃子

私たちは12月9日木曜日、江東区にある「そなエリア東京」にて、防災体験学習をしてきました。地震発生後72時間の生存力をつける、東京72h TOURでは、大地震発生後の街の様子がリアルに再現されていました。もし、火事が起きてしまった場合の行動の仕方や近くの建物が崩壊しそうになっていたときの正しい行動などを学ぶことが出来ました。学習施設のブースでは、最近の大地震で実際に発揮された自助の知恵などを学びました。災害時の怪我の応急処置や、簡易トイレの作り方など、どれも実践的なものばかりでとてもためになりました。

「自分の命は自分で守る」この防災体験学習でその大切さを改めて実感しました。災害が起きた時には適切な判断能力が大事になってきます。地震はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、災害時に落ち着いて正しい行動ができるように、日々の備えが大事になってくると思いました。家の最寄りの避難場所や地震ハザードマップなどを確認することも備えの1つだと思います。

この学びを活かして、一人一人が今からでもできる備えをしていけるととても良いと思います。

「備えあれば憂いなし!!!」

